

令和6年度子ども議会(中学生の部) 質問と回答の要旨

議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	答弁要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再答弁要旨
1	上柴中学校	環境を良くし、地域を明るくするための工夫について	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集所の周辺にごみが散らばっていることは良いことではない。 ・私の住んでいる地域では「ごみゼロ」という地域をきれいに美しく保つ活動を月に数回行っています。私の住んでいる地域以外でも、このような活動を行っているのですか。 ・ごみを減らし、環境を良くしていくことは、地域が明るく、だれもが心地良くなるための第一歩だと思う。大切なことは、ごみを減らすことだと思うので、地域を明るくするための工夫を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市における地域環境保全活動として、一例ではありますが、唐沢川を周辺住民が川の中に入って清掃している活動、深谷市北部にある青淵公園のトイレなどをボランティアで清掃していただいている活動などがあります。 ・議員お住まいの地域で実施しているゴミゼロ運動をはじめ、市民の皆様が自分の地域をきれいにいただいている姿は、非常に誇らしく思っております。 ・ごみの投げ捨て防止及び環境美化に対する意識の向上を図ることを目的として、毎年5月と11月に、市内一斉に「ごみゼロ」運動を実施しています。 ・市としては、こうした活動を支援するとともに、ごみゼロ運動を通じて、多くの市民の皆様に環境問題について考えていただく機会を提供していきたいと思っております。 	環境衛生課	環境水道部		
2	明戸中学校	深谷市の農業事業者を増やす取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・明戸地区では農家の高齢化や人手不足により農業をやめてしまう人が増えていると聞いています。そのため耕作放棄地が少しずつ増えているように感じています。 ・農林業センサスでは、深谷市の農業就業人口数が2010年は6,015人だったのに対し、2020年には4,182人となり統計からも減少していることがわかります。 ・明戸地区をはじめ豊かな土壌に恵まれた深谷市だからこそ、農業事業者を増やすことが必要だと考えております。 ・市の農業事業者を増やすための具体的な支援はどのようなものですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を始める若い方への支援として、国の補助制度を活用し、1年あたり最大150万円、農業を始めてから最長3年間の支援を行っております。 ・農業を始める前の種や苗の購入から、栽培、販売まで実践的な研修などへの支援として、花園農協が中心となって設立した「担い手育成塾」の運営を埼玉県や市で支援をしています。 ・市としては、農業事業者を増やすことだけでなく、農作業を効率化し人手不足を補うため、先端の技術を利用したスマート農業などを研究している会社の誘致や、そのような企業と農業事業者とのつながりを作ることも取り組んでいます。 ・これからも国や県と連携し、持続可能な農業「農業王国ふかや」を目指していきます。 ・各種イベントの開催を通して、深谷産農畜産物を市民の皆様をはじめ、市外や県外にPRする活動も積極的に行い、売り上げの増加やブランド化の定着を進めています。 	農業振興課	産業振興部		
3	幡羅中学校	ずっと住み続けたくなる街のための「くるりんバス」の運行の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・私が小学生の頃は自宅の近くに「くるりん」のバス停があったが、現在はルートが縮小され、幡羅中学校区にバスは来なくなりました。 ・くるりんバスとの思い出がたくさんあり、少し悲しい気持ちになりました。 ・「くるりん」は市民の生活をより豊かにして、「ずっと住み続けたいまち」となるための重要な役割を担っていると考えています。 ・「バス」という交通手段が身近になることで、車を使うことができない学生や、高齢者が利用することで、より住みやすい深谷市へと変わると考えます。 ・「くるりん」が今後、さらに充実したものになるよう、何か計画はありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・くるりんは、民間路線バスが運行しない地区において、主にお年寄りや運転免許証を持たない方等を対象に、日常的な市民の足として、毎日運行しています。 ・くるりんは、毎日決まった時間に決まったルートを運行する「定時定路線」、ルートや時間を決めず利用者のご希望の時間に合わせて運行する事前予約型の「デマンドバス」となっています。 ・幡羅エリアを運行していた「くるりん」定時定路線については、令和2年4月に実施した運行ルートの見直しにおいて、幡羅地区はデマンドバスで運行代替ができるものと判断できたことから、運行を廃止したものです。 ・しかしながら、その後のデマンドバスの利用状況を分析すると、幡羅地区の移動需要が急激に高まっており、その後も高いままとなっていることから、市では、幡羅地区の一部を「新規路線検討エリア」と位置付け、新たな移動手段を生み出す検討を進めています。 ・このような中、民間バス事業者より、幡羅地区を通る路線バスの新規運行を計画している旨の情報提供があり、現在、運行実現へ向けた話し合いを重ねています。 	都市計画課	都市整備部		

令和6年度子ども議会(中学生の部) 質問と回答の要旨

議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	答弁要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再答弁要旨
4	深谷中学校	深谷市の産業の発展と人が集まる町づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市の農業は全国的に有名だが、歴史と伝統を有する各種商工業も強みだと思えます。 ・一方で、人口減少や少子化が課題の一つとなっています。 ・深谷市の様々な業種のかたと中学生が連携し、商品開発や販売などを通して、深谷市の更なる発展と、人が集う町づくりが推進できると考えています。 ・深谷市は、このような意見に対し、どのような考えを持っていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や少子化は、深谷市だけでなく全国的な問題となっており、まちづくりを進めるうえで、乗り越えなければならない大きな課題であると考えています。 ・中学生との連携による商品開発や販売などは、市の産業を活性化させ、人が集うまちづくりに繋がる良い考えだと思います。 ・最近、中学生ではないが、深谷商業高校の生徒と市内菓子店との連携により、栄一翁ゆかりの「オートミルクッキー」が開発・商品化され、生徒がイベントで販売したほか、道の駅で取り扱われるなど学生と連携した地域の活性化の好事例となっています。 ・人口減少という状況においても、市が将来にわたって発展していくためには、深谷市に「住み続けたい」、「住んでみたい」と思っていただけるまちになる必要があります。 ・「深谷市の魅力」を向上させ、市内外にアピールしていく施策を実施しています。 ・農業の課題をIT技術等で解決しようという「アグリテック」の取組を進めたり、子育て支援を充実させるなどの取組を行い、深谷市への移住定住を進めています。 ・まちづくりにしても、新1万円を機に郷土の偉人・渋沢栄一翁を広くPRしたり「ふかや花園プレミアム・アウトレット」などを活用したりして、人々を呼び込み深谷市の魅力を向上させる取組を行っています。 ・今後も、皆さんのような若い世代の意見を積極的に聴き、これからの深谷市のまちづくりに生かしていきたいので、中学生の皆さんも一生懸命活動し、積極的に行動してほしいです。 	企画課	企画財政部		
5	藤沢中学校	渋沢栄一の一万円札発行に対して深谷市が行っている具体的な取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の7月に新紙幣が発行され、日本中の人々が関心を寄せているところだと思えます。 ・1万円札には、深谷市の偉人である渋沢栄一が選ばれ、市内の人だけでなく、多くの人がこの深谷市を訪れると思えます。 ・渋沢栄一だけでなく、深谷のことも知ってもらいたいと思っています。 ・新1万円札発行に関して、渋沢栄一のことをより多くの人に知ってもらうための取組としては、具体的にどのようなものを行っていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月25日の発行100日前には、イベントを実施するとともに、SNSを活用したカウントダウンの取り組みを開始しました。 ・発行日前日からさまざまなお祝いイベントを実施し、7月3日には、藤沢中学校をはじめとした、市内小中学校でもくす玉を開いて、お祝いをしていただきました。 ・日本銀行からは新1万円札券の贈呈をいただき、現在、市役所の1階ロビーにて展示を行っております。 ・今後も、この盛り上がりを一過性のものにせず、継続的なものとするために、関連企業・団体とも協力し、1万円をテーマにした商品を開発するなど、様々な取組を検討していければと考えております。 ・渋沢栄一イコール深谷市というイメージを全国に広げていきたいと考えております。 	渋沢栄一政策推進課	渋沢栄一政策推進部		
6	豊里中学校	自動運転バスによる運転手不足解消について	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、自動運転バスの試乗会に参加し、運転手がハンドルを持たずに、バスが自動で走行しており、技術の進歩に大変驚かされた。 ・しかし、安全面を配慮し、運転手が手動に切り替え操作する場面が見受けられた。 ・安全のため運転手が同乗したり、遠隔操作や監視をするのでは運転手不足解消につながらないのではないか。 ・将来的に自動運転バスにより、どのように運転手不足を解決していくのか、方策を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内では、現在、運転手不足の問題が大変深刻化しています。 ・市では、昨年6月に、専門技術を持つ事業者と共通の目的やプロジェクトを達成するための共同体である「深谷自動運転実装コンソーシアム」を結成し、運転手不足問題の解決を目指しています。 ・運転手がいる状態で自動運転運行を続けるだけでは、運転手不足問題の解決にはつながらず、解決には、全ての運転操作が無人化される「自動運転レベル4以上」を実現する必要があります。 ・全ての車両で無人自動運転走行が実現すれば、運転手不足問題が解決されるだけでなく、交通事故がほぼ無くなると考えています。 ・現在、国内では路線バスの規格で、「自動運転レベル4」の認可取得事例はまだ無いことから、市では、「自動運転レベル2」での走行実績を数多く重ね、路線バスにおける無人での自動運転走行の早期実現を目指していきます。 	都市計画課	都市整備部	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、深谷市では全路線自動運転バスをいつ頃までに計画していますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、国では、2027年までに自動運転バスを走らせたいという計画を持って補助事業などを行っています。 ・このため、深谷市においても、2027年に向けて事業を進めているところです。

令和6年度子ども議会(中学生の部) 質問と回答の要旨

議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	答弁要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再答弁要旨
7	南中学校	深谷市の未来に 続く発展について	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み、人口減少が心配される。 ・市内に、工場などの企業が多くなれば、雇用が増え、人口が増加して地域の活性化に繋がりを、人々の生活が豊かになると考えます。 ・これからの深谷市の展望として、企業などを誘致するために、土地の確保が行われているのか教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在深谷市には、深谷工業団地や御稜威ヶ原工業団地など、4か所の工業団地が整備されています。 ・深谷市が進めていた「花園IC拠点整備プロジェクト」により、ふかや花園プレミアム・アウトレットと深谷テラス ヤサイな仲間たちファームを誘致することができ、雇用の増加や観光客数の増加に繋がっています。 ・市内に企業を誘致することができれば、雇用が増え、人口が増加して地域の活性化に繋がりを、人々の生活が豊かになると考えています。 ・深谷市の更なる産業振興のため、新たな産業用地を確保すべく、今年度より、寄居スマートIC付近の調査を実施していきます。 ・今後も発展していけるよう、引き続き企業誘致に取り組んでいきます。 	産業ブランド推進室	産業振興部		
8	川本中学校	深谷市川本地区の 有名人畠山重忠のように、 それぞれの学区の 歴史上の人物をより、 有名にしていきたい 件について	<ul style="list-style-type: none"> ・川本地区には畠山重忠といった、歴史上の人物もいます。 ・各中学校区にも、それぞれの地域に基づいた歴史上の人物やその人物の逸話があるかと思しますので、渋沢栄一のように、世間に知れ渡って欲しい。 ・川本中学校では、畠山重忠ゆかりの地を巡る観光ルートの整備や、SNSアカウントの作成など、より有名になるための方策を考えました。 ・深谷市では、渋沢栄一以外の歴史上の人物のPR方法を、どのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の偉人の功績を称え、顕彰に取り組むことにより、深谷市の魅力を市内外に発信するとともに、郷土愛をつくり上げ、ふるさと教育の推進につなげています。 ・それぞれの学区や地域にも様々な偉人がおり、例えば、富岡製糸場の建設に尽力した明戸地区の塙塚直次郎や岡部地区では、平安時代の武士である岡部六弥太忠澄、埼玉県初のオリンピック選手である野口源三郎などについて、各学校でふるさと先生を招くなどして、学習や顕彰を実施している状況です。 ・今後も郷土にゆかりのある偉人について、地域の資料収集や調査・研究を行い、多くの方が郷土にゆかりのある偉人について理解を深めることができるよう、講座や企画展、ホームページ、SNSの活用などにより、情報発信を行います。 ・地域や市内の小中学校と連携し、偉人顕彰による文化振興と地域の活性化を図ってまいります。 	文化振興課	教育部		
9	花園中学校	暗くても安心できる 深谷の町づくり について	<ul style="list-style-type: none"> ・夜でも安心して道が通れるように街灯を増やすべきだと考えます。 ・私の住む花園は大自然に囲まれ、地域の方が親切であたたかく住みやすい地域です。 ・街灯が少なく、夜になると暗くなる道がたくさんある。 ・ガードレールや縁石がない道や車道と高低差がある畑もたくさんある。 ・冬の部活動帰りは街灯が少ないので、いつも以上に注意を払わなければならない。 ・暗くても安心できる深谷をつくるため、街灯を増やすべきだと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、深谷市内には、12,178基の街灯が設置されています。 ・夜間、歩行者などの利用が多い道路や防犯対策を目的に、毎年、新しい街灯を、各自治会からの要望に基づき設置しているが、要望数が多いため、全てに対応できていないのが現状です。 ・市としても、市内各地域の「交通安全環境」を改善するため、可能な限り街灯設置などの地元要望に応えられるよう努めています。 ・街灯などの設置以外にも、交通安全街灯キャンペーンなどで交通安全に関する普及啓発活動に努めています。 ・議員においても、夜間の外出では、友達や周りの人たちと一緒に安全対策に取り組んでいただきたい。 	道路管理課	都市整備部		
10	東京成徳大学 深谷中学校	栄一翁の取組や 考え方をさらに広 める活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・先月3日、新しい一万円札が発行されました。 ・深谷市では、いままでも栄一翁を広く知ってもらうための活動を行ってきたと認識していますが、この盛り上がりを持続し、さらに広める活動ができたと思っています。 ・深谷市としては、今後どのような活動を考えているのか教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発行日前日や当日は、さまざまなイベントを実施し、新聞、テレビなど、さまざまなマスコミに取り上げられました。 ・東京成徳大学深谷中学校及び高等学校の皆さんが、新一万円札発行をお祝いするため、大変大きなモザイクアートを製作していただき、その前で、学校の皆さんと市長と一緒に「行たくす玉開き」はとも効果的なPRになりました。 ・渋沢栄一翁が新一万円札の肖像となったことに皆さんも誇りを持っていただき、これからも深谷市と栄一翁を盛り上げていただければ幸いです。 	渋沢栄一政策推進課 渋沢栄一記念館	渋沢栄一政策推進部		
11	岡部中学校	深谷市全体の経済的 発展を目的とした 商業施設の増設 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ふかや花園プレミアム・アウトレットは、市内市外問わず多くの人が利用していて、隣の深谷テラスでの野菜などを販売していることにより、市の農業を市外へアピールする場となっています。 ・岡部地区では深谷特産のねぎの他に、トウモロコシの「味来」などの特産がある一方で、それを市外に発信する場所が少ないと感じています。 ・深谷市の経済的発展や農産物の市外への発信などの観点から、岡部地区への商業施設の誘致を検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡部地区では道の駅おかべにおいて、本市の特産物の魅力を発信しています。 ・花園地区以外にも市外、県外から多くのかたが来場する施設ができれば、市の特産物のPRに繋がると考えています。 ・商業施設の誘致には、ある程度まとまった面積の土地が必要となり、加えて、交通アクセスがよく、多くの人が訪れやすい場所であることも重要です。 ・市でこのような土地を確保するのは困難で、誘致を実現するには長い年月をかけて土地の所有者との交渉や法律に定められた手続きを実施する必要があります。 ・中長期的な視点で、需要の有無や誘致メリットを考慮しながら検討を行っていきたくと考えております。 	産業ブランド推進室	産業振興部		